

	学校だより 芽 吹 き	FOR 2050	教育目標 1 自ら学び、考え、実践できる人になろう (賢く) 2 思いやりのある、心豊かな人になろう (優しく) 3 心身ともに、たくましい人になろう (逞しく)
	NO.178	令和5年10月10日発行 中野区立南中野中学校	



振り返りと実行

校長 竹之内 勝

10月6日(金)の前期終業式における校長講話から

こんにちは。今日で令和5年度の前期が終業します。笑顔の皆さんと前期を充実して終えることができ、とてもうれしく思っています。前期の様々な取組の中で、皆さん一人ひとりに大きな成果があったと確信しています。保護者や地域の方々からも「ボランティアに積極的であることが素晴らしい」「学力・豊かな心・体力の向上に前向きに取り組んでいる」「挨拶されるのがうれしい」など、たくさんのお褒めの言葉をいただいています。大きな成果があふれている南中という環境の中で、気付いていない人もいることと思いますが、確実に、大きな成果が力となって、一人ひとりに身に付いています。

令和5年度前期、南中生一人ひとりが、本当によく頑張りました。南中における今年度前期の生徒アンケートで、「そう思う」と肯定的に回答した割合を、上位から順にお知らせします。

- 91.1% 「学校生活は楽しい」(徳)
- 85.1% 「挨拶をしている」(徳)
- 79.0% 「体力テスト『中野スタンダード』達成」(体)
- 75.7% 「自分にはよいところがある」(徳)
- 73.7% 「相談事や悩みを相談できる」(徳)
- 73.2% 「保健体育の授業に興味・関心がある」(体)

- 72.2% 「自分の学力は向上している」(知)
- 65.1% 「だいたい毎日運動している」(体)
- 60.5% 「読書を1日10分以上している」(知)
- 60.5% 「人や社会の役に立つ人間だと思う」(徳)
- 60.2% 「家庭で毎日学習(予習)している」(知)

割合が上位となっている内容は、南中生の強みです。自信をもって、これからも学校生活を続けていきましょう。また、個々に振り返り、自身がどうであったか、今後どうしていくかを決意し、実行していきましょう。

このあと、これまでの南中での学びが、通知表として学級担任の先生から渡されます。通知表には、厳しいことや耳の痛いことも書いてあるかもしれませんが、しかしそれは、先生方からの本音での励ましだと受け止め、これからの新たな「振り返りと実行」につなげてください。

3日間という短い秋休みだからこそできる決意を胸に、後期始業式である10月10日(火)、更なる笑顔の皆さんに会えることを楽しみにしています。

「FOR2050(2050年に向けて)～東京一さわやかなあいさつのできる学校～」のもと、新しい一歩を踏み出す秋休みとしてください。



夢を実現するための「PPTの法則」

校長 竹之内 勝

10月10日(火)の後期始業式における校長講話から

おはようございます。後期が始まりました。笑顔の皆さんと新しい一歩を踏み出せることを、とてもうれしく思っています。3日間という短い秋休みだったからこそその決意を胸に、後期も笑顔いっぱい生活していきましょう。

さて、後期始業式に当たり、「夢を実現するための『PPTの法則』」について話します。

「夢を口にし続けていたら、知らないうちに応援してくれる人がどんどん増えて、気付くと大きな力になっていました。」

「あきらめなければ、夢はかなうのです。」

これまで交流したオリンピック、パラリンピアン、芸術家、職業従事者等の講演やメディアのインタビューなどで、活躍してキラキラ輝いている人が、このように話す場面を見てきたことと思います。夢を実現している人の共通点、それが「PPTの法則」です。

Purpose(目的)

何のためにその夢が必要か

Process(過程)

その夢の実現に
どのようなプロセスが必要か

Teamwork(チームワーク)

その夢の実現が
誰かを幸せにするものか

「P P T」は、パズルのピースのようなものです。全てが揃って完成です。近い未来の夢、遠い未来の夢、どんな夢でも構いません。その夢がPPTの法則に沿ってきちんと説明できるかを振り返ることが、自分の人生の選択肢をさらに広げる手段でもあるのです。

「FOR2050(2050年に向けて)～東京一さわやかなあいさつのできる学校～」のもと、後期も笑顔で毎日を送っていきましょう。